

財政調整基金等の残高・管理の考え方等について

財政調整基金等の令和7年度末の残高及び基金管理の考え方については、以下のとおりとしています。

○基金の状況等

基金名	残高	・活用方法等
財政調整基金	令和6年度末 基金残高	1,704,299千円
	令和7年度 取崩額	200,000千円
	令和7年度 積立額	3,735千円
	令和7年度末 基金残高見込	1,508,034千円
	<p>令和7年度は、市庁舎をはじめ、各公共施設やインフラ施設の維持管理経費の増額や市民病院事業への繰出など、多額の一般財源を要したことから取崩しを行った。積立については、基金利子分を積み立てた。</p> <p>今後については、経済状況等の変化に対応できるよう適正な基金管理を行うとともに、取り組むべき事業の財源や年度間の財政負担を軽減するための財源として活用する。</p>	
減債基金	令和6年度末 基金残高	511,654千円
	令和7年度 取崩額	119,622千円
	令和7年度 積立額	40,302千円
	令和7年度末 基金残高見込	432,334千円
	<p>令和7年度は、旧清掃センター施設整備事業債の繰上償還費用の財源として取崩しを行った。積立については、令和7年度普通交付税の再算定で措置された臨時財政対策債償還基金費（37,992千円）及び基金利子を積み立てた。</p> <p>今後については、市債償還額が高額となる状況が続く見込みであることから、公債費の財源や繰上償還を実施する際の公債費抑制のための財源として活用する。</p>	

※ その他、特定目的基金については、積み立てるべき原資が収入された場合等に積み立てる。その後、基金を活用すべき事業を実施する際の財源として活用する。